

ゼミとディスカッショングループ

企画運営：名古屋大学高等教育研究センター《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》

共催：東海国立大学機構 アカデミック・セントラル インストラクショナル・デザインチーム

2022年3月9日（水）9:30－17:00

スケジュールの詳細は裏面をご参照ください。

会場：オンライン開催（Zoomを使用）

講師：**Richard Ingham 氏** British Council



概要 高等教育研究センターではブリティッシュ・カウンシルの協力のもと、英語による授業担当者向けのセミナーを開催します。「ゼミとディスカッショングループ」では、英語でゼミやグループでの議論で進行をコントロールし、参加するすべての学生の意見をきちんと汲み取れるようにします。また、各学生にフィードバックする際、的確な表現を用い、効果的にアドバイスする方法を身につけます。

対象 英語での授業に関心を持つ大学教員

定員 12名（本学8名、学外4名）

お申込み 本プログラムは定員少数のため、次の方法で参加申込を受け付けます。

- ・2022年1月14日（金）～**2022年2月28日（月）**の間に下記ウェブサイトより申込してください。<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/220309/>
- ・申込者が定員を超えた場合は、大学教員としての経験年数の短い方を優先して、参加者を決めます。経験年数は、助教以上（特任助教等を含む）の常勤職員経験年数を指し、非常勤研究員等の経験は含みません。また、経験年数は、他機関での経験年数を含んだ通算年数を指します。
- ・参加の可否について、**2022年3月3日**以降に個別にご連絡いたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

お問合せ 名古屋大学高等教育研究センター
info@cshe.nagoya-u.ac.jp



セッション1 9:30-11:00	主導しコントロールする	<ul style="list-style-type: none"> ・議題を決める ・始め方 ・議論の異なる段階に進む、違うトピックに移る ・終わり方 ・練習
セッション2 11:15-12:45	クラスルームマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを紹介する ・参加を促す ・意見を聞く ・比較する、誉める、アイデアを批評する、根拠を述べる ・練習
セッション3 13:45-15:15	焦点を保つ	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に割り込む ・中断や問題のある人の対処 ・ディスカッションを元に戻す ・練習
セッション4 15:30-17:00	1対1の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブな意見を伝える ・ネガティブな意見を的確な表現で伝える ・アドバイスを与える ・練習

Richard Ingham 氏

Richard started teaching in 2008 in Cambridge, UK, where he completed his Cambridge CELTA qualification. In 2019, he attained the Cambridge DELTA (master's level qualification) and is currently in the final phase of a master's degree in Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL). He is a published academic author, with recent publications in *The Language Teacher* (Japan Association of Language Teachers), and *The English Teaching Journal* (Cambridge University). His current role is as university lecturer in Japan, where he is responsible for teaching academic English courses. He has worked in Japan for more than ten years and, as well as academic English, has experience in teaching Business English, IELTS, and English for Academics.